

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	【学科教育理念】エアライン業界が求める人財の育成 学科教育理念を実現するため以下の目標を掲げ、実践的かつ専門的能力をもった人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	観光専門課程	エアラインサービス学科 (キャビンアテンダントコース)		平成21年2月27日文科 科学省告示第21号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1792	1792	0	768	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数	
80人	55人		2人	8人		10人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動	■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空、空港、ホテル、旅行など ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 87.5% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	マナープロトコール検定 秘書検定 TOEIC 実用英語技能検定等			
中途退学の現状	■中途退学者 10名 ■中退率 18% 平成26年4月1日 在学者 55名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 45名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失						
	■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
佐藤 次雄	株式会社エアポートカーボサービス
明石 伸子	特定非営利活動法人日本マナープロトコール協会

(開催日時)

平成27年6月17日 15:00～16:30

平成27年9月1日 15:00～16:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

エアライン業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コミュニケーション スキル(マナープロ トコール)	エアライン業界に必要な「世界に通用するマナー」 と「チームワーク」についての理解を深め、具体的 に活かしていくことを目標とする。	日本マナー・プロトコール協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科キャビンアテンダントコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験・表現力・文章力の向上を図る	1後2前	64	4	○			○		○		
○			ビジネスマナー	社会人としての基本的なマナーを学ぶ	1前2後	64	4	○			○		○		
○			航空業界就職対策	航空業界に必要な就職活動の基本的なスキルを学ぶ	1前2前	96	6	○			○		○		
○			コミュニケーションスキル (マナー・プロトコール)	日本マナー・プロトコール協会と連携した実習授業により、グローバルなマナーやコミュニケーション、表現力の向上を図る	1通2前	96	6				○	○	○		○
○			卒業制作	2年間学んだことを活かし、業界に向けて新しい提案をまとめ発表する	2後	96	6				○	○	○		
○			航空業界研究	業界の知識を身に付ける	1通2前	96	6	○			○		○		
○			英会話	英語のヒアリング・リスニングを身に付ける	1通2通	128	8	○			○		○		
○			英語検定特別講習	英語検定合格のスキルアップを図る	1通	96	6	○			○			○	
○			接客英語	接客に必要な英会話を習得する	1前2後	96	6	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科キャビンアテンダントコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アクセス実習	航空予約システムのスキルを習得する	1 前 後	128	8			○	○			○	
○			英検対策&TOEIC	英語検定とTOEICのスコア向上を図る	1 通 2 通	256	16	○			○			○	
○			教養知識	一般教養知識を習得する	1 通 2 前	192	12	○			○		○		
○			航空英語 (エアラインイングリッシュ)	航空業界に必要な英会話を習得する	1 後 2 前	96	6	○			○			○	
○			ビューティスタディー	業界が求める身だしなみのスキルを学ぶ	1 通	64	4			○	○			○	
○			スキルアップ	業界が求める、必要なスキル向上を図る	2 前	32	2	○			○			○	
○			PC実習	パソコン操作の基本を習得する	2 通	64	4			○	○		○		
○			手話	手話で会話する基本を習得する	2 通	64	4			○	○			○	
○			航空サービス実習	航空業界に必要なサービスの実習を実施し必要なスキルを習得する	1 通	64	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科キャビンアテンダントコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	海外旅行知識	海外旅行に関する知識を習得する	1前	32	2	○			○	○			
		○	英語検定補修	英語検定対策の補講	1通	96	6			○	○			○	
		○	海外観光地理	海外観光地の知識を習得する	1後2前	128	8	○			○		○		
		○	添乗業務	旅行添乗員としての知識を習得する	1後2前	64	4	○			○		○		
		○	ユニバーサルホスピタリティ	社会人としての応用的な接客・マナーを学ぶ	1通	64	4	○			○		○		
		○	海外研修旅行	海外研修によりグローバルな知識を身に付ける	1後2後	64	4			○		○	○		
		○	中国語	中国語の基本を学ぶ	2通	64	4	○			○			○	
		○	韓国語	韓国語の基本を学ぶ	2通	64	4	○			○			○	
		○	アポロ実習	航空機予約システムを習得する	2前	32	2			○	○			○	
合計															
						科目	単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科キャビンアテンダントコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	AXESS実習 国内1級	航空予約システム検定の国内1級資格取得を目指す	2前	32	2			○	○			○	
		○	AXESS実習 国際2級	航空予約システム検定の国際2級資格取得を目指す	2前	32	2			○	○			○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の知識を学ぶ	2通	64	4	○			○			○	
		○	国内旅行知識	国内観光地の知識を習得する	1前	32	2	○			○			○	
合計					31科目		2560単位時間(160単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修科目は90単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	【学科教育理念】エアライン業界が求める人財の育成 学科教育理念を実現するため以下の目標を掲げ、実践的かつ専門的能力をもった人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	観光専門課程	エアラインサービス学科 (グランドスタッフコース)		平成21年2月27日文科 科学省告示第21号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1792	1792	0	768	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80人	55人		2人		8人		10人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		卒業単位の取得が条件		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動		■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空、空港、ホテル、旅行など ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 87.5% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		マナープロトコール検定 秘書検定 TOEIC 実用英語技能検定等		
中途退学の現状	■中途退学者 10名 ■中退率 18% 平成26年4月1日 在学者 55名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 45名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失						
	■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
佐藤 次雄	株式会社エアポートカーボサービス
明石 伸子	特定非営利活動法人日本マナープロトコール協会

(開催日時)

平成27年6月17日 15:00～16:30

平成27年9月1日 15:00～16:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

エアライン業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コミュニケーション スキル(マナープロ トコール)	エアライン業界に必要な「世界に通用するマナー」 と「チームワーク」についての理解を深め、具体的 に活かしていくことを目標とする。	日本マナー・プロトコール協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科グランドスタッフコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験・表現力・文章力の向上を図る	1 後 2 前	64	4	○			○	○			
○			ビジネスマナー	社会人としての基本的なマナーを学ぶ	1 前 2 後	64	4	○			○	○			
○			航空業界就職対策	航空業界に必要な就職活動の基本的なスキルを学ぶ	1 前 2 前	96	6	○			○	○			
○			コミュニケーションスキル (マナー・プロトコール)	日本マナー・プロトコール協会と連携した実習授業により、グローバルなマナーやコミュニケーション、表現力の向上を図る	1 通 2 前	96	6				○	○	○		○
○			卒業制作	2年間学んだことを活かし、業界に向けて新しい提案をまとめ発表する	2 後	96	6				○	○	○		
○			航空業界研究	業界の知識を身に付ける	1 通 2 前	96	6	○			○	○			
○			英会話	英語のヒアリング・リスニングを身に付ける	1 通 2 通	128	8	○			○	○			
○			英語検定特別講習	英語検定合格のスキルアップを図る	1 通	96	6	○			○		○		
○			接客英語	接客に必要な英会話を習得する	1 前 2 後	96	6	○			○		○		
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科グランドスタッフコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アクセス実習	航空予約システムのスキルを習得する	1 前 後	128	8			○	○			○	
○			英検対策&TOEIC	英語検定とTOEICのスコア向上を図る	1 通 2 通	256	16	○			○			○	
○			教養知識	一般教養知識を習得する	1 通 2 前	192	12	○			○		○		
○			航空英語 (エアラインイングリッシュ)	航空業界に必要な英会話を習得する	1 後 2 前	96	6	○			○			○	
○			ビューティスタディー	業界が求める身だしなみのスキルを学ぶ	1 通	64	4			○	○			○	
○			スキルアップ	業界が求める、必要なスキル向上を図る	2 前	32	2	○			○			○	
○			PC実習	パソコン操作の基本を習得する	2 通	64	4			○	○		○		
○			手話	手話で会話する基本を習得する	2 通	64	4			○	○			○	
○			航空サービス実習	航空業界に必要なサービスの実習を実施し必要なスキルを習得する	1 通	64	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科グランドスタッフコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	海外旅行知識	海外旅行に関する知識を習得する	1前	32	2	○			○	○			
		○	英語検定補修	英語検定対策の補講	1通	96	6			○	○			○	
		○	海外観光地理	海外観光地の知識を習得する	1後2前	128	8	○			○		○		
		○	添乗業務	旅行添乗員としての知識を習得する	1後2前	64	4	○			○		○		
		○	ユニバーサルホスピタリティ	社会人としての応用的な接客・マナーを学ぶ	1通	64	4	○			○		○		
		○	海外研修旅行	海外研修によりグローバルな知識を身に付ける	1後2後	64	4			○		○	○		
		○	中国語	中国語の基本を学ぶ	2通	64	4	○			○			○	
		○	韓国語	韓国語の基本を学ぶ	2通	64	4	○			○			○	
		○	アポロ実習	航空機予約システムを習得する	2前	32	2			○	○			○	
合計															
						科目	単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科グランドスタッフコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	AXESS実習 国内1級	航空予約システム検定の国内1級資格取得を目指す	2前	32	2			○	○			○	
		○	AXESS実習 国際2級	航空予約システム検定の国際2級資格取得を目指す	2前	32	2			○	○			○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の知識を学ぶ	2通	64	4	○			○			○	
		○	国内旅行知識	国内観光地の知識を習得する	1前	32	2	○			○			○	
合計						31科目	2560単位時間(160単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修科目は90単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	【学科教育理念】エアライン業界が求める人財の育成 学科教育理念を実現するため以下の目標を掲げ、実践的かつ専門的能力をもった人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	観光専門課程	エアラインサービス学科 (航空ハンドリングコース)		平成21年2月27日文科 科学省告示第21号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1792	1792	0	768	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数	
80人	55人		2人	8人		10人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動	■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空、空港、ホテル、旅行など ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 87.5% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	マナープロトコール検定 秘書検定 TOEIC 実用英語技能検定等			
中途退学の現状	■中途退学者 10名 ■中退率 18% 平成26年4月1日 在学者 55名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 45名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失						
	■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
佐藤 次雄	株式会社エアポートカーボサービス
明石 伸子	特定非営利活動法人日本マナープロトコール協会

(開催日時)

平成27年6月17日 15:00～16:30

平成27年9月1日 15:00～16:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

エアライン業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コミュニケーション スキル(マナープロ トコール)	エアライン業界に必要な「世界に通用するマナー」 と「チームワーク」についての理解を深め、具体的 に活かしていくことを目標とする。	日本マナー・プロトコール協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科航空ハンドリングコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験・表現力・文章力の向上を図る	1後2前	64	4	○			○	○			
○			ビジネスマナー	社会人としての基本的なマナーを学ぶ	1前2後	64	4	○			○	○			
○			航空業界就職対策	航空業界に必要な就職活動の基本的なスキルを学ぶ	1前2前	96	6	○			○	○			
○			コミュニケーションスキル (マナー・プロトコール)	日本マナー・プロトコール協会と連携した実習授業により、グローバルなマナーやコミュニケーション、表現力の向上を図る	1通2前	96	6				○	○	○		○
○			卒業制作	2年間学んだことを活かし、業界に向けて新しい提案をまとめ発表する	2後	96	6				○	○	○		
○			航空業界研究	業界の知識を身に付ける	1通2前	96	6	○			○	○			
○			英会話	英語のヒアリング・リスニングを身に付ける	1通2通	128	8	○			○	○			
○			英語検定特別講習	英語検定合格のスキルアップを図る	1通	96	6	○			○			○	
○			接客英語	接客に必要な英会話を習得する	1前2後	96	6	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科航空ハンドリングコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アクセス実習	航空予約システムのスキルを習得する	1 前後	128	8			○	○			○	
○			英検対策&TOEIC	英語検定とTOEICのスコア向上を図る	1 通 2 通	256	16	○			○			○	
○			教養知識	一般教養知識を習得する	1 通 2 前	192	12	○			○		○		
○			航空英語 (エアラインイングリッシュ)	航空業界に必要な英会話を習得する	1 後 2 前	96	6	○			○			○	
○			ビューティスタディー	業界が求める身だしなみのスキルを学ぶ	1 通	64	4			○	○			○	
○			スキルアップ	業界が求める、必要なスキル向上を図る	2 前	32	2	○			○			○	
○			PC実習	パソコン操作の基本を習得する	2 通	64	4			○	○		○		
○			手話	手話で会話する基本を習得する	2 通	64	4			○	○			○	
○			航空サービス実習	航空業界に必要なサービスの実習を実施し必要なスキルを習得する	1 通	64	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科航空ハンドリングコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	海外旅行知識	海外旅行に関する知識を習得する	1前	32	2	○			○	○			
		○	英語検定補修	英語検定対策の補講	1通	96	6			○	○		○		
		○	海外観光地理	海外観光地の知識を習得する	1後2前	128	8	○			○	○			
		○	添乗業務	旅行添乗員としての知識を習得する	1後2前	64	4	○			○	○			
		○	ユニバーサルホスピタリティ	社会人としての応用的な接客・マナーを学ぶ	1通	64	4	○			○	○			
		○	海外研修旅行	海外研修によりグローバルな知識を身に付ける	1後2後	64	4			○	○	○			
		○	中国語	中国語の基本を学ぶ	2通	64	4	○			○		○		
		○	韓国語	韓国語の基本を学ぶ	2通	64	4	○			○		○		
		○	アポロ実習	航空機予約システムを習得する	2前	32	2			○	○		○		
合計				科目	単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程エアラインサービス学科航空ハンドリングコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	AXESS実習 国内1級	航空予約システム検定の国内1級資格取得を目指す	2前	32	2			○	○			○	
		○	AXESS実習 国際2級	航空予約システム検定の国際2級資格取得を目指す	2前	32	2			○	○			○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の知識を学ぶ	2通	64	4	○			○			○	
		○	国内旅行知識	国内観光地の知識を習得する	1前	32	2	○			○			○	
合計						31科目	2560単位時間(160単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修科目は90単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。